

事業報告書

1. 事業名

遺伝子組換え実験安全研修会

2. 事業目的

文部科学省の方針に基づき、各機関のより良い遺伝子組換え実験安全管理体制構築に関する情報提供・情報交換および討論を行う。

3. 開催期間

平成27年8月1日(土) 10時00分～16時00分

4. 開催場所

一橋大学一橋講堂 中会議場1～4

5. 主催

全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 主催

国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議 共催

6. 参加機関

行政官庁 1組織、国立大学法人 34校、公私立大学 20校、

国立研究所・国立研究開発法人・公益財団法人 13機関、

民間研究所等 24組織

合計92機関 参加者合計143名

7. 事業概要

プログラムに従って、午前中は開催の挨拶の後、電子申請システムの紹介、人工合成遺伝子の検討が行われ、会場の参加者からの質問及び討論が行われた。

午後は、文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室 伊藤隆専門官によるカルタヘナ法の説明が行われた。引き続き、大阪大学 伊川正人教授によるマウスゲノム編集に関する講演、ならびに北海道大学 石井哲也教授によるゲノム編集による植物育種と社会受容性に関する講演が行われ、講演後に参加者からの質問があり活発な討論が行われた。続いて、ゲノム編集生物技術の進展と課題についてのパネルディスカッションを行い、質疑応答や討議・意見交換が活発に行われた。

参加者へのアンケート調査を行った結果、有用な情報が得られ、大変有意義だったとのことであった。今後もこのような機会があれば積極的に参加したいとの意見が多数寄せられた。

参考資料

- ① 当該安全研修会のポスター
- ② 当日スナップ写真

～ ゲノム編集技術の **進展** と **課題** ～

日時：2015年 **8月1日** (土)

会場：**一橋大学一橋講堂** 中会議場1～4

(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)

10:00～11:00

電子申請システムについて

大学等に導入されている電子申請システムをご紹介します。審査の効率化について検討します。

11:00～12:00

人工合成遺伝子について

人工合成遺伝子が安価に作成できるようになりました。その現状と問題点について検討します。

13:00～16:00

カルタヘナ法について

(文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室)

CRISPR/Cas9システムを用いたマウスゲノム編集

(大阪大学 微生物病研究所 附属感染動物実験施設 伊川 正人)

ゲノム編集による植物育種と社会受容性

(北海道大学 安全衛生本部 ライフサイエンス研究安全担当 石井 哲也)

パネルディスカッション - ゲノム編集技術の進展と課題 -

神保町駅(A9出口)徒歩4分
・東京メトロ半蔵門線
・都営三田線
・都営新宿線
竹橋駅(1b出口)徒歩4分
・東京メトロ東西線

この安全研修会は、遺伝子組換え実験の安全管理に関係する方であればどなたでも参加出来ます

参加費：2,000円 (資料代)

申込方法：下記ホームページからお申し込み下さい
<http://www1a.biglobe.ne.jp/iden-kyo/index.html>
参加申し込み締切：2015年7月17日 (金)

お問合せ先：全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 事務局
〒683-8503 鳥取県米子市西町86
鳥取大学生命機能研究支援センター 遺伝子探索分野内
TEL:0859-38-6472 FAX:0859-38-6470
E-mail: daigaku.idenshi.kyo@med.tottori-u.ac.jp

主催：全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会
共催：国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議
後援：文部科学省 (予定)

研修会当日のスナップ写真



午前の講演



午前の講演



午後の講演



午後の講演



パネルディスカッション



パネルディスカッション